

(別記様式2)

環境放射能対策功労者推薦状

1. 氏名		ふりがな 功 ^{こうろう} 表 ^{ひょうしょう} 彰
2. 生年月日 (西暦)		〇〇〇〇 年 〇月 〇日 (〇〇才) (男・ <input checked="" type="radio"/> 女)
3. 連絡先		<input checked="" type="checkbox"/> 勤務先 <input type="checkbox"/> 自宅 (いずれか選択) E-mail: 〇〇〇〇@〇〇〇. 〇〇. 〇
4. 現住所		〒〇〇〇-〇〇〇〇 東京都 〇〇 〇〇 Tel (〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇)
5. 勤務先	(1) 名称	こくりつだいがくほうじん 〇 〇 だいがく 国立大学法人〇〇大学
	(2) 所在地	〒〇〇〇-〇〇〇〇 東京都 〇〇 〇〇 Tel (〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇)
	(3) 業務内容	環境放射能分析、測定
6. 職務上の地位		教授
7. 候補者の履歴 (注1)		平成〇〇年〇月 国立大学法人〇〇大学〇〇学部 助手 平成〇〇年〇月 国立大学法人〇〇大学〇〇学部 准教授 平成〇〇年〇月 国立大学法人〇〇大学〇〇学部 教授
8. 功績 (注2)		環境放射能対策功労者のイに該当する。 国立大学法人〇〇大学において環境放射能対策に係る業務に長年携わり、 また、学内において長年に亘り環境放射能対策に係る教育に貢献した。 詳細は別紙のとおり。
9. 賞罰 (注3)		受賞 <input checked="" type="radio"/> ・ 無 <input type="radio"/> 〇〇学会功労賞
		欠格事由 (①～④) に該当しない <input checked="" type="checkbox"/> (該当しない場合にチェック)
10. 本件に関する連絡先と担当者名 (注4)	連絡先	国立大学法人〇〇大学
	ふりがな担当者名	かんきょう たいさく 環境 対策 Tel (〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇)

賞状及び楯の正確を期するため、正しく記載して下さい。

功績の詳細は別紙に記載し、補足資料として添付してください。記載方法については、別紙の記載例を参考にして下さい。

注1. 業務履歴を含む。

業務履歴			
業務に就任した日 ～業務を離れた日	左記の年数	事業所名	業務の内容（具体的に）
平成元年4月1日～平成12年3月31日	11年	△△大学■■学部	環境放射能分析

国、地方自治体等の活動				
項目	就任期間	左記の年数	役職等	活動の内容
例) 原子力規制庁環境放射能委員会	令和2年4月1日～令和4年5月31日	2年2月	常任委員	環境放射能対策に係る検討

学会等での活動				
項目	就任期間	左記の年数	役職等	活動の内容
例) 環境放射能学会	令和2年8月1日～令和6年7月31日	4年	会長	環境放射能対策に係る検討

注2. 放射線安全管理功労・環境放射能対策功労者審査要領の2. (2)イ、ロに該当することを明らかにし、その内容を簡単かつ明瞭に記載すること。なお、功績の詳細は具体的に別紙へ記載するとともに必要に応じ補足資料（候補者の功績を示す詳細な関係資料、新聞記事等の写し等）を添付すること。

環境放射能対策に係る論文等がある場合はここに記載する（筆頭著者に限る）。

注3. 候補者が過去において表彰を受けたことがある場合には、受賞名称、受賞年月日及びいかなる業績により表彰されたかを記載すること。

欠格事由は次の通りです。

①この顕彰要綱により、既に同一の事績で表彰を受けている者

②禁錮以上の刑に処せられ、その執行を終わるまで及びその執行を受けることがなくなるまでの者

③所属組織での懲戒免職の処分を受け、当該処分の日から2年を経過しない者

④核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律、原子力災害対策特別措置法、放射性同位元素等の規制に関する法律、放射線を発散させて人の生命等に危険を生じさせる行為等の処罰に関する法律に違反し、不利益処分又は罰則を課された者

⑤①～④に定める者のほか、表彰委員会が表彰することが適当でないと認められる者

注4. 候補者の業績についての問い合わせに対して確実に受継及び応答のできる者及びその連絡先を記載すること。

注5. 本推薦状にご記入頂いた個人情報につきましては、審査委員会での功労者の選定等、本表彰の実施に関する目的に限り使用致します。

備考. この用紙は日本産業規格A4を用い、1枚におさめること。

(この用紙は、主要な功績につき簡潔に記載することとし、功績の詳細は別紙に記載すること)

功績を示す補足資料の記載例

1. 環境放射能対策に係る実務に関すること

環境放射能対策に係る実務に関する詳細な業績を記載する。

例として、「長年に亘って環境放射能対策に係る業務に従事し、モニタリングシステムの構築、モニタリングセンターの建設と運営、緊急時モニタリング体制の確立などに貢献した。」等のことを詳細に記載する。

2. 環境放射能対策に係る国、地方自治体、学会等での活動に関すること

環境放射能対策に係る国、地方自治体、学会等での活動に関する詳細な実績を記載する。委員会名や学会名を示し、その中でどのような役割を果たしたかを具体的に記載する。

3. 環境放射能対策に係る調査・研究活動に関すること

環境放射能対策についての調査・研究活動の内容について具体的に記載する。執筆した出版物や学会等に発表した論文名があれば記載し、必要に応じて出版物等の内容を簡潔に記載する。

4. その他

その他、環境放射能対策に係る実績について記載する。

※功績については、実績がわかる資料や新聞記事等を別添として添付して下さい。

本記載例及び放射線安全管理功労・環境放射能対策功労表彰顕彰要綱は、
下記ホームページからもご覧になれます。

公益財団法人原子力安全技術センター ホームページ
<https://www.nustec.or.jp/>